

深坂古道 コースマップ

紫式部も通った 万葉の道を歩く

近江・塩津と越前・敦賀を結ぶ古道。古来「深坂越え」と呼ばれ、越前と近江を結ぶ主要道路として賑わいました。万葉の歌人・笠金村や、紫式部が父（藤原為時）に同行して通った道としても知られています。また平清盛が琵琶湖・敦賀間の運河計画を命じたところでもあります。この時に掘り起こした大岩が現在の深坂地蔵と伝えられています。3.8kmと距離は短いながらも「深坂間屋跡」「深坂地蔵」「笠金村歌碑」「紫式部歌碑」など、悠久の歴史に触れることができるのもこの道の魅力です。さらにコースの北には正田舟川の運河遺跡があり当時の物流の様子もうかがうことができます。

約2時間 / 3.8km

近江鶴ヶ丘バス停

▼約10分 0.3km

深坂古道南口

▼約30分 0.9km

深坂地蔵

▼約20分 0.7km

笠金村歌碑

▼約20分 0.6km

紫式部歌碑

▼約20分 0.6km

深坂古道北口

▼約20分 0.7km

JR新正田駅

Access

公共交通
行き：JR北陸線近江塩津駅から、湖国バス「新道野行き」に乗り、約5分で近江鶴ヶ丘バス停下車。帰り：JR北陸線新正田駅から乗車。
自動車利用時の駐車スペース
深坂古道南口の駐車場を利用。

Information

問い合わせ先
[交通] 湖国バス長浜営業所
電話 (0749) 62-3201
[コース] 奥びわ湖観光協会
電話 (0749) 82-5909



編集 長浜市北部振興局産業振興課 H28.3

正田舟川
F

JR新正田駅

161

福井県

滋賀県

JR近江塩津駅

道の駅
あだかまの里

びわ湖

JR永原駅

丸子船の館

奥びわ湖

びわ湖

びわ湖

沢を渡る橋が滑りやすいので注意。

知りぬらむ
往來（ゆきき）
世に経（ふ）
る道はからきものぞと
「紫式部集」

紫式部歌碑

ホオノキ

笠金村歌碑

カーブを曲がると巨大な
ホオノキが現れます。5月
から6月にかけては花の
香りが漂います。

深坂地蔵への参道。
ゆるやかな石段が続きます。

丈夫（ますらお）の
うし（ゆづえ）振り起せ射つる矢を
後（のち）見む人は振り起せ射つる矢を
「万葉集」

深坂峠

深坂地蔵

深坂間屋跡

深坂地蔵

深坂峠

深坂地蔵

深坂間屋跡

深坂地蔵

深坂峠

深坂地蔵

深坂間屋跡

深坂地蔵

深坂峠

N
4
+

福井県

滋賀県

近江鶴ヶ丘バス停

START

旧道

深坂地蔵

深坂峠

深坂地蔵

深坂峠



1 深坂地蔵の看板が目印。ここ
を入り集落を抜けると深坂古
道がはじまります。



2 深坂古道南口。道の両脇には
もみじが植えられています。



3 深坂古道旧道との合流地点。
この先深坂地蔵の参道が続
きます。



4 林道との合流地点。歩きやす
い道が続きます。



5 深坂古道北口。ここから新
正田駅までは舗装された道が
続きます。



6 深坂古道旧道入口。ほこらが
目印。旧道は2013年に整備され
再び歩くことが可能になりました。



A B 問屋跡
巨大な石垣は、荷受問屋の跡
地です。敦賀から運ばれた荷
物がここで別の業者の馬に積
み替えられ塩津港まで運ば
れました。



C 深坂地蔵

平安末期、平清盛は息子の重盛に琵琶湖・敦賀間の運河開削を命じました。その際に大岩を割ろうとしたところ激しい腹痛に襲われたため工事は中断、大岩を掘り起こすとお地蔵様であったといわれています。このお地蔵様が現在の深坂地蔵と伝えられ、別名「掘止め地蔵」と呼ばれています。また旅人が道中の安全を祈願して塩をお供えたことから「塩かけ地蔵」の別名もあります。以前はお地蔵様の顔に塩を塗ることもありましたが、痛みが激しく現在は禁止されています。

